

押小だより

て ん し ん ら ん ま ん

天真爛漫



令和5年12月25日
さくら市立押上小学校
令和5年度 第13号
文責：仁平 博幸

持久走記録会から…すてきな先輩の応援を受けて 全力で自分に挑戦した子どもたち

先月、11月のことになりますが、10月の「全力」の運動会を終えてまもなく、11月15日（水）に校内持久走記録会を実施しました。これまで「持久走大会」という名称でしたが、今年度は、自分の記録に挑戦するという意味で「記録会」という名称に変え行いました。

当日に向けて、業間休みに持久走練習を行いました。校庭を走る児童が日々を追うごとに増え、自分の目標に向かって「今日は〇周走るんだ。」「先生！〇周走ったよ！」など子どもたちは走ることに意欲をもつてのぞんでいました。

私も、子どもたちの様子を見ることと、健康増進のために、一緒に校庭を走りました。もちろん、スピードは出ませんので、あくまでもマイペースで。誰かと競うのではなく、自分のペースで、自分の決めた目標（例えば「〇周走る」「何分走る」）達成に向けて、走りました。



15日（水）当日、晴天の下、記録会を実施。2校時が1～3年生、3校時が4～6年生と、2部構成で行いました。子どもたちは、精一杯自分の記録に挑戦し、本当にがんばりました。最後まで走りきる姿に、そして他の学年の子を精一杯の声で応援している姿にとっても感動しました。多くの保護者の皆様にも応援にお越しいただきました。ありがとうございました。

さて、当日は「スペシャルゲスト」として、子どもたちの先輩にあたる、的場亮太（まとばりょうた）さんにお越しいただきました。的場さんは、本校卒業後、氏家中、大田原高、

順天堂大学へと進み、大学在籍時には箱根駅伝に出場した大先輩です。その後、実業団で走り続け、現在はさくら市の職員としてがんばっています。（的場さんが小学生の時に、私も本校に勤めていて、そのついでお願いした次第です。）

的場さんは、子どもたちと一緒に準備運動やアップ、そして本番では伴走をしていただきました。そして、走り終わった子一人一人に「がんばったね」のグータッチ（うれしいプレゼントですね）。子どもたちは先輩からのプレゼントにととてもうれしそうにしていました。

走る前に、的場さんから子どもたちに準備や走る時のポイント、心構えなどをお話しいただきました。その中で、子どもたちにお話しいただいた「あの子に勝ちたい、負けたくないという気持ちももちろん大切だけど、これまでがんばってきた自分を信じて、



自分の力を精一杯出すことが今日は大切です。」というメッセージは、私も大切にしたいと思っていたことでした。「弱い心に勝って、今自分が持っている力を出す、出し切る、つまり『全力』を出すことが大切」ということです。ここでも「全力」がキーワードで、的場さんからも、そのことを子どもたちに伝えてもらい、うれしい限りでした。子どもたちも的場さんのそのメッセージを本当に走りや応援であらわしていました。どの学年にもその姿があり、感動の2時間でした。的場さんも終わった後「本当に一人一人が一生懸命がんばっていました。後輩がこんなにがんばっているのを見てうれしく思いました。」とお話しされていました。

この記録会も、一人一人が「全力」の「全員主役」になりました。私も子どもたちの全力の姿に幸せを感じるとともに、教え子と約20年ぶりに一緒に走れたことをとてもうれしく思っています。



さて、この記録会に向けて、何人かの子どもたちは、放課後や早帰りの日の午後、自主的に校庭で走っていました。また、中には夏休みから走っていた子もいたそうです。

きっとその子には「こうしたい」「こうありたい」という目標があったのだと思います。目標に向けて努力することは大切です。でも、「大切」と分かっているのに実行すること、続けることは簡単なことではありません。ひたむきに努力し続けていた子どもたちを見て、私は目頭が熱くなりました。続けていた努力は決して裏切りません。その気持ちと経験は今後にきっと生かされ、花開くときが来ると思っています。(仁平博幸)

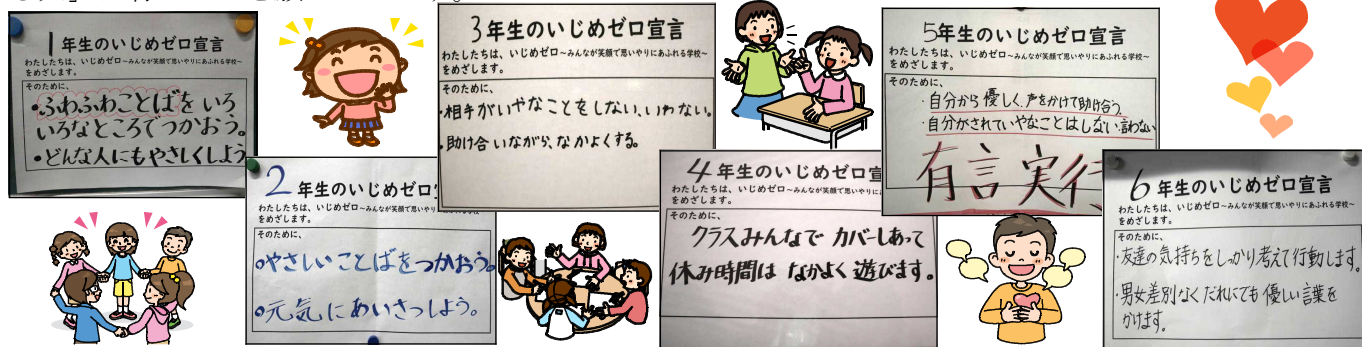
自分を・相手を大切にできる人に

12月は人権を大切にするとして、毎年12月4日～10日を「人権週間」と定め(法務省)、全国的に人権啓発活動が強化して行われています。(12月10日は「人権デー」と定められています。)

人権意識の基本は「自分はこう思うけど、相手はどう思っているだろう」という「想像する力」であり、「(相手の考えや行動が)自分とちがうことを受け入れ認める」という「寛容」(心の広さ)であり、何か問題が起きたときに「自分はこうしたらよいか」と考え行動できるという『自分ごと』としてとらえ、考え行動できる態度・力」ではないかと思えます。日常の中で、自分が意識せずにしている言動が相手はどのように感じているか、分からない場合でも想像していくことは必要です。私も、この機会に自分の言動を振り返った次第です。(気を付けないといけない点が多々…反省の日々です。)

今月は、各学級で「いじめゼロ宣言」の目標を立てました。クラスで人権を大切に、いじめなど、いやな思いをする子がいないようにするにはどうしたらよいかを話し合い、宣言にしたものです。そして、クラスの目標を達成するために、自分は何をしていくかを考え実行しました。まさに「自分ごと」としてとらえ、行動できるようにする取り組みです。宣言には、学校だけでなく、社会にも共通する内容もありました。もしかすると、子どもたちの方が人権意識が高く、我々大人が忘れかけていた考え・意識があるのかもしれない。子どもたちの姿には、誰にでも声をかけられる、友達のまちがいを優しく許せる、失敗した友達を励ましている、悩んでいる友達にそっと寄り添っているなど、我々大人が学ぶ機会になるものがたくさんあります。

この活動をきっかけに、子どもたちが、一層「自分を大切にできる人」、そして「相手を大切にできる人」に育つことを願っています。



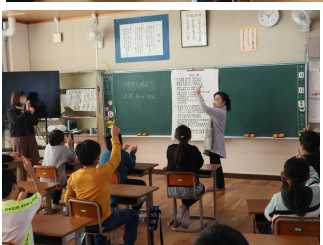
～充実した「ふれあいの里」に… 改めて感謝申し上げます～

11号でも「ふれあいの里」(11/18)について触れましたが、「ふれあいの里」では

- 「避難所用スリッパ&ランタンづくり」(1～4年生)
- 「避難所用パーティション&ベッド・簡易トイレ設置体験」(5・6年生)
- 「創作活動・昔遊び」(1・2年生)
- 「バルーンアート」(3年生)
- 「手話体験」(4年生)
- 「笑いヨガ体験」(5・6年生)

の6種類の講座・活動を実施しました。

各講座には、地域の皆様やボランティアの方々、リーダースクラブの皆さんにご協力いただきました。本校児童の豊かな体験活動のために本当にありがとうございました。また、約80名の保護者の皆様に参加いただき、充実した活動となりました。改めて感謝申し上げます。お世話になりました。



★冬休みは、明日26日(火)～1月8日(月・祝)です。年末年始が入ります。事故や病気・けがに十分気を付けて、充実した休みとなることを願っています。よいお年をお迎えください。

押上小がこんな学校に…
「一人一人が主人公の学校」
「みんなが幸せを感じる学校」
『また明日ね』と
笑顔で帰れる学校」